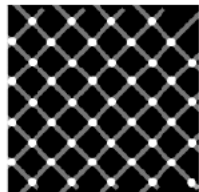


我々はなにを見ているか —視覚機能の探求—

生活の中で感じる視覚についての疑問は、最先端の研究に通じるものもある。
身近な疑問から、視覚の謎にせまってみよう。

不思議な視覚現象

日常場面でみつけることもできる

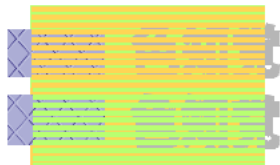


白丸の中に黒い点がちらつく



同じ写真だが傾きが違って見える

左端で参照している2組の部分の明度は、画面上それぞれほぼ同じだが、知覚される明るさは大きく異なる。



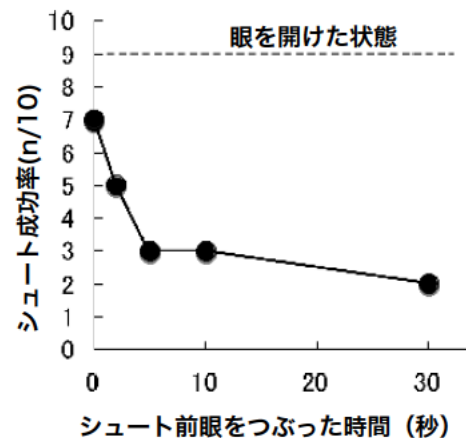
周辺の色によって、灰色がオレンジや黄緑に見える



速度制限と駐車禁止の標識同じ向きだが、駐車禁止がより傾いて見える。

各自がテーマを決めて挑戦

例1. 眼をつぶってシュート
バスケットのシュート動作の一定時間前に眼をつぶってシュートした。5秒ぐらいまで徐々に成功率が低下し、その後30秒まであまり変化がない。このような結果は、実験前は予想できなかった。



その他の例：本読みながらピアノを弾けるか？鏡で手元を見ながらギターを弾けるか？1分間の時間予測は閉眼時によいか？どのくらい暗くなるまでテニスができるか？

例2. テニスボールの色

何種類かの色のボールを使って打ち返しのタイミングをはかる（打ち返した方向で降る遅れを評価）。黄色が振り遅れが少なかったが、コートの色（暗い緑）との明るさのコントラストの効果によると推察できる（図中の緑との対比参照）。

